

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	アコライト	Lv.1:		レベル	7
サポートクラス	ガンスリンガー	Lv.1:	ガンスリンガー	性別	女
称号クラス				年齢	不明
種族	エルダナーン			境遇	記憶喪失
出自(効果)	不明			目標	戦い好き

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	18	18	8	10	7	21	7
ボーナス	6	6	2	3	2	7	2
クラス修正	0	2	0	1	1	2	0
他修正							
能力値	6	8	2	4	3	9	2

HP	71
MP	92
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	キャリバー	10m	0	10	0	0	0	0	0
左手	ボーンシールド		0	0	0	8	0	-2	0
頭部	闘士のバンダナ		1			3			-1
胴部	レビテートローブ					2			
補助	深紅の腕輪		1		-1	4	-1		
装身具	鷹の目								
能力値			8	0	2	0	9	5	11
スキル									
その他			2	3					
総計(右)			12	13					
総計(左)			12	3	1	17	8	3	10
総計(両)									m
ダイス数			3 d	3 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	8			8	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	4			4	+ 2 d
アイテム鑑定	4			4	+ 2 d
魔術判定	4		1	5	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
ハイHPポーション	
ハイMPポーション	
冒険者セット	
万能薬	

現在重量: 0  
 最大重量: 18  
 所持金:  預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
フォティテュード	★	-	パッシヴ	-	-	-		
効果: 作成時に最大MP+5								
プロテクション	5	3	DR直後	20m	単体	自動成功	5	
効果: 対象のダメージ-5D								
アフェクション	1	-	DR直後	20m	単体	自動成功	1	
効果: ダメージ0に、シナリオ1回								
	1							
効果:								
アームズマスタリー: 魔導銃	1		パッシヴ		自身			
効果: 命中+1Dする								
キャリバー	1	-	アイテム	-	自身	-	1	
効果: キャリバー1個取得する								
フォールダウン	5	5	マイナー	-	自身	自動成功	5	
効果: ダメージ+10 飛行・騎乗・同乗解除!								
ファニング	1	5	メジャー	武器	効果参照	命中	3	
効果: 射程内2体の対象に攻撃可								
ディフュージョンショット	3	7	《ファニング》	-	自身	自動成功	3	
効果: 同時使用でダメージ+3D								
エクシードショット	3	-	マイナー	-	自身	自動成功	3	
効果: ダメージ+30、メイン後銃は使用不可に								
テンポラリリペア	1	15	効果参照	-	効果参照	自動成功	1	
効果: 魔導銃を再び使用できるようにする、シーン1回								
カリキュレイト	1	-	イニシアチブ	-	自身	自動成功	1	
効果: 未行動の時メインを行える、使用後行動済みに。シーン1回								
プレットレイブ	1	-	パッシヴ	-	自身	-	1	
効果: エンゲージしてる敵、リアクションの判定-1D								
	★							
効果:								
デストロイヤー	1	-	パッシヴ	-	自身	-	1	
効果: オブジェクトを破壊するときのダメージロール+2D								

ウニ(銃)と旅する不思議な子。  
 年齢は不明であり出自も不明、わかっていることはこの銃の使い方と名前のみ  
 頭を触られるのを恐れるのも過去に何かあったからなのか…  
 普段は触られないように帽子をかぶっている。この帽子の中に何かがあるかは、秘密…!  
 戦闘好きで常に戦いを求める。危ない所を神官に助けてもらったことがあり、それ以来自分もダナン様を信仰しプロテックからアコのスキルを覚えてるところ。  
 戦うにはギルドに入るのが一番、ということで入ったギルドで記憶喪失の子を発見!  
 久しぶりに帰ってきたので話しかけてみた、という感じ…?

※一応考えてる設定は、幸せな家庭に暮らしていたニア。だがある日街は崩壊を迎えた。  
 炎に包まれた街の中、逃げ惑う人々を楽しそうに殺す魔族たち。  
 そんな中ニアは誕生日を祝ってくれると約束した家族を家で待っていた…。  
 「行ってくるわねニア」「いい子で待ってるんだぞ」ニアの頭を撫で、両親はそう言って出て行ったり、帰ってくることはなかった…  
 ずっと家で待っていたニアは、やがて家が燃え尽き町の様子を知ると同時に混乱し、今までの一切の記憶を無くし、一人ふらふらと街の外に出た。  
 途中で出会った魔族は全て殺し、血で染められた自身とウニを持ち歩き続けるニア…  
 そしてたどり着いたのが、今所属してるギルドである。  
 たどり着くまでにダナン様信仰の神官とも出会った。

「うしっウニはあたしの相棒、なので!ばーんっ」

